

先人の育ててきた自然環境

裏磐梯の自然環境に学ぶ（学習指導案）

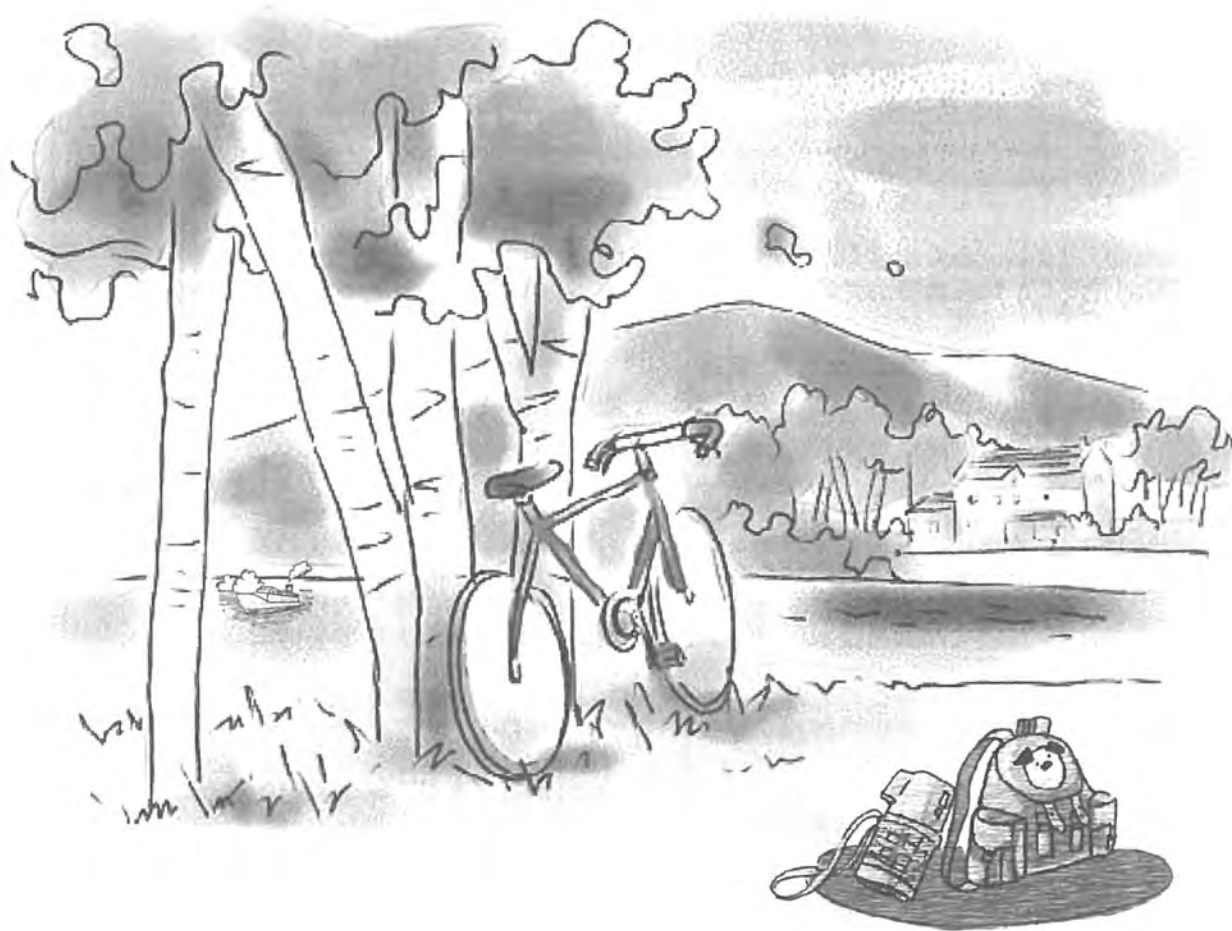
授業実践例 第5学年

総合学習；教科発展型（5年社会科、6年社会科）

- 1 単元名 ふくしまの環境を守る
- 2 単元のねらい
 - ・裏磐梯の自然散策を通して、自然環境の恵みを体感することができる。
 - ・観光地として人が訪れる程の自然環境を作り育ててきた先人の功績について知り、人間にとって自然は不可欠なものであることを理解することができる。
- 3 指導計画・学習内容（総時数6時間）

次時	学習活動																		
I	<p>1 環境教育副読本「ふくしまのかんきょう」をもとに、自然環境について話し合う。</p> <p>2 スライドを見ながら森林環境、森林資源、自然の美しさについて学ぶ。人々が作り育ててきた森林について知り、裏磐梯散策学習の計画を立てる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学習内容</th> <th>時間</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 めあてを知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ふくしまの自然環境から環境の大切さを学ぼう </div> </td> <td>5</td> <td>・県より配付されている「環境副読本」を活用することで、身近な環境について学習するという意識を高めさせたい。</td> </tr> <tr> <td>2 副読本を参考に、ふくしまの環境について話し合う。</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 スライドを見ながら、森林資源の有用性や環境との関わり、森林環境がもたらしてくれる美しさや恵みについて知識を豊かにする。</td> <td>40</td> <td>・自作資料を活用する。 ・木材資源や水環境の関わり、生物等を紹介することで、森林環境を大きく捉えさせ、森林の大切さを理解させたい。</td> </tr> <tr> <td>4 見学学習のしおりをもとに裏磐梯散策の計画を理解する。 ・散策コース（五色沼トレッキング） ・植林による森林の再生 ・遠藤 現夢の功績</td> <td>20</td> <td>・「裏磐梯緑化の父」とよばれる遠藤現夢の功績についての具体的な数値や逸話を紹介することで、学習の目的を強く意識させたい。</td> </tr> <tr> <td>5 本時の学習を振り返り、学習感想を発表する。</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習内容	時間	指導上の留意点	1 めあてを知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ふくしまの自然環境から環境の大切さを学ぼう </div>	5	・県より配付されている「環境副読本」を活用することで、身近な環境について学習するという意識を高めさせたい。	2 副読本を参考に、ふくしまの環境について話し合う。	20		3 スライドを見ながら、森林資源の有用性や環境との関わり、森林環境がもたらしてくれる美しさや恵みについて知識を豊かにする。	40	・自作資料を活用する。 ・木材資源や水環境の関わり、生物等を紹介することで、森林環境を大きく捉えさせ、森林の大切さを理解させたい。	4 見学学習のしおりをもとに裏磐梯散策の計画を理解する。 ・散策コース（五色沼トレッキング） ・植林による森林の再生 ・遠藤 現夢の功績	20	・「裏磐梯緑化の父」とよばれる遠藤現夢の功績についての具体的な数値や逸話を紹介することで、学習の目的を強く意識させたい。	5 本時の学習を振り返り、学習感想を発表する。	5	
学習内容	時間	指導上の留意点																	
1 めあてを知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ふくしまの自然環境から環境の大切さを学ぼう </div>	5	・県より配付されている「環境副読本」を活用することで、身近な環境について学習するという意識を高めさせたい。																	
2 副読本を参考に、ふくしまの環境について話し合う。	20																		
3 スライドを見ながら、森林資源の有用性や環境との関わり、森林環境がもたらしてくれる美しさや恵みについて知識を豊かにする。	40	・自作資料を活用する。 ・木材資源や水環境の関わり、生物等を紹介することで、森林環境を大きく捉えさせ、森林の大切さを理解させたい。																	
4 見学学習のしおりをもとに裏磐梯散策の計画を理解する。 ・散策コース（五色沼トレッキング） ・植林による森林の再生 ・遠藤 現夢の功績	20	・「裏磐梯緑化の父」とよばれる遠藤現夢の功績についての具体的な数値や逸話を紹介することで、学習の目的を強く意識させたい。																	
5 本時の学習を振り返り、学習感想を発表する。	5																		
II	<p>3 裏磐梯デジタルセンターからスタートし、毘沙門沼を経由する五色沼トレッキングを行う。檜原湖を帰着点とする。安全には十分に留意させる。</p> <p>4</p> <p>5 ・磐梯山の噴火によって湖沼群ができたこと。</p> <p>6 ・遠藤 現夢らを中心とした先人達が、裏磐梯の森林の再生に尽力したこと。（遠藤 現夢の墓碑）</p> <p>檜原湖では、遊覧船から磐梯山や周囲の森林環境を観察する。また、檜原湖は、磐梯山の噴火で生じた堰止湖であるが、森林環境と相まって豊かな自然森林環境の一助にもなっていることを理解する。</p>																		

森林環境学習の し お り

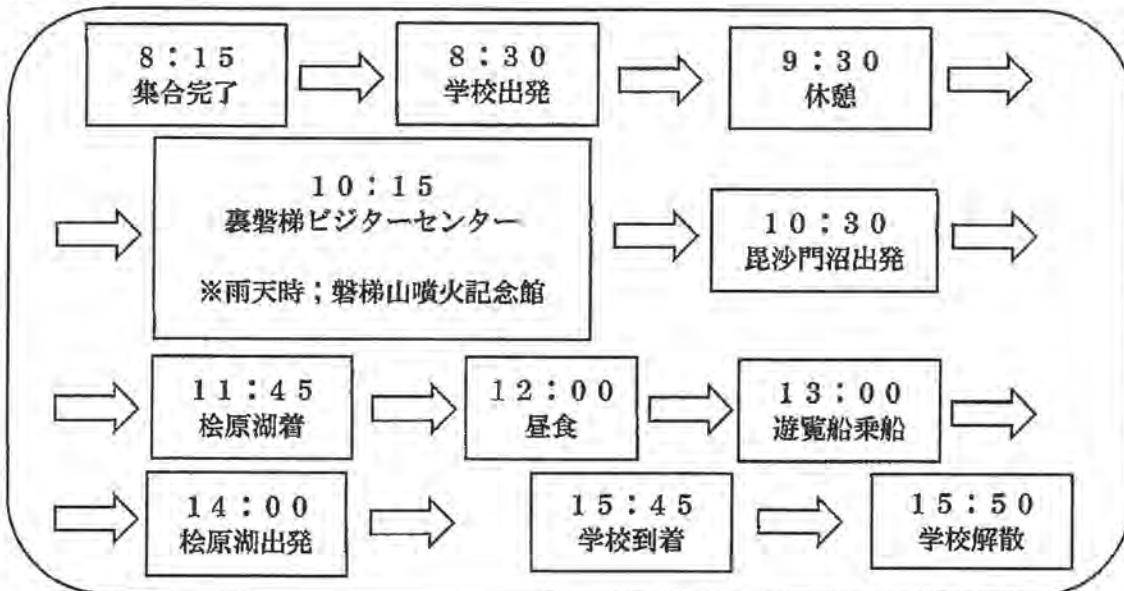


5年1組 番

玉川村立玉川第一小学校

5年生森林環境学習について

- 1 目的
 - ・見学や体験活動を通して、森林が環境保全に果たす役割について理解する。
 - ・森林が人間にもたらす恵みについて理解する。
 - ・校外での学習活動を通して、社会性を身につけるとともに、見聞を広げる。
- 2 学習目的地
裏磐梯・猪苗代方面（主活動；五色沼トレッキング）
※ 磐梯山噴火記念館（雨天時）
- 3 実施学年
第5学年
- 4 日時
平成29年 9月26日（火） 8：30～15：50 ※雨天実施
- 5 日程



- 6 引率の先生
眞野目 先生
安 齋 先生
- 7 服装・持ち物
 - 動きやすい私服、紅白帽子、履きなれた靴、リュックのように背負えるバッグ
 - 昼食 ○敷物 ○水筒（飲み物） ○しおり ○ハンカチ ○タオル
 - おやつ（食べきれぬ分を考えて） ○ビニール袋（ごみ袋として）
 - カメラも大丈夫ですが、自己管理となります。
- 8 その他
 - スクールバスでの運行時間内で実施します。

裏磐梯の歴史について調べてみよう

会津と米沢を結ぶ会津街道。裏磐梯がある北塩原村には、この会津街道が通っています。戦国時代には大きな戦があったところだそうです。

さて、この裏磐梯は、福島県北部にある磐梯山、安達太良山、吾妻山に囲まれた標高約(800)mにあります。明治21年(1888年)に会津磐梯山が噴火して生まれたのが磐梯高原です。磐梯朝日国立公園に指定されている裏磐梯は、夏は涼しく、冬は雪がたくさんふり、季節ごとに魅力がたくさんあります。日本でも有数の観光スポットといえるところです。

明治21年7月15日、会津磐梯山の噴火によって裏磐梯が生まれました。山頂部分での噴火は、十数回に及び、最後の噴火で山体が崩壊したそうです。大量の岩石や土砂などがふもとに流れ、巨大な高原大地が出現しました。また、それまでの川がせき止められ、今回遊覧船が航行する桧原湖ができた、くぼ地に水がたまり、今回トレッキングをする湖沼群が生まれたりしたそうです。

今でこそ一大観光スポットの裏磐梯ですが、今のような魅力あるところにするまでには、多くの人の力と時間がかかったということを忘れてはなりません。特に、『裏磐梯緑化の父とよばれる(遠藤 現夢(遠藤 十次郎))』を忘れてはなりません。彼は、1864年の生まれです。時代でいえば江戸時代です。この頃、日本は時代が変わる大きな時で、彼が幼少期会津で大きな戦がありました。一面の焼野原の記憶が裏磐梯の緑化に駆り立てたとも言われています。彼と多くの福島県民との心血を注いだ努力があったからこそ今の裏磐梯があるといっても過言ではありません。実は彼の墓碑と噴火で亡くなった犠牲者の慰霊碑が五色沼(柳沼)のほとりに残されています。

彼の熱意は、ただならぬものがあつたようです。20世紀初めは、幹線道路が開通しただけで、物資の運搬が大変だったようです。10万本を超える苗木を運び、植林につぐ植林を進めました。噴火の爪痕が残る中での活動だったので、道路を造りながらで前進は困難を極めたようです。植林に関する知識は、中村 弥六の協力を得て、苗木の生長を見守っていたようです。

今回行く裏磐梯は、自然が作り出した湖沼群の美しさと、人々が知恵と力を出して作ってきた森林の美しさとの両方を兼ね備えています。今回、事前にこのようなことを知っておくことは、森林環境学習をする上でとても大切だと考えます。この見学学習を通して、人々の環境に対する熱い思いや自然への畏敬の念を抱いてくれたら最高の時間となることでしょう。